



---

# クライアント 操作マニュアル

## C00-01 テンプレート

株式会社 エヌジェーケー

---

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されております。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。  
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## マニュアルの表記

### ◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール

DataNature Smart クライアント :DN クライアント

### ◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [ ] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス

<大阪営業所>データボタン

### ◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

### ◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のもも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

### ◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

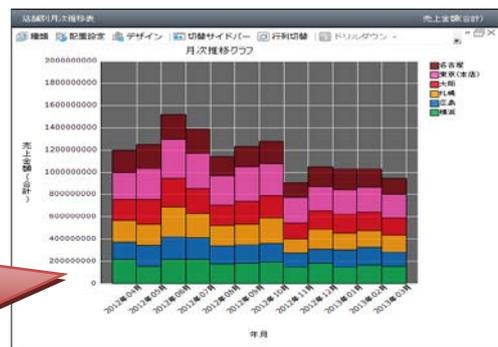
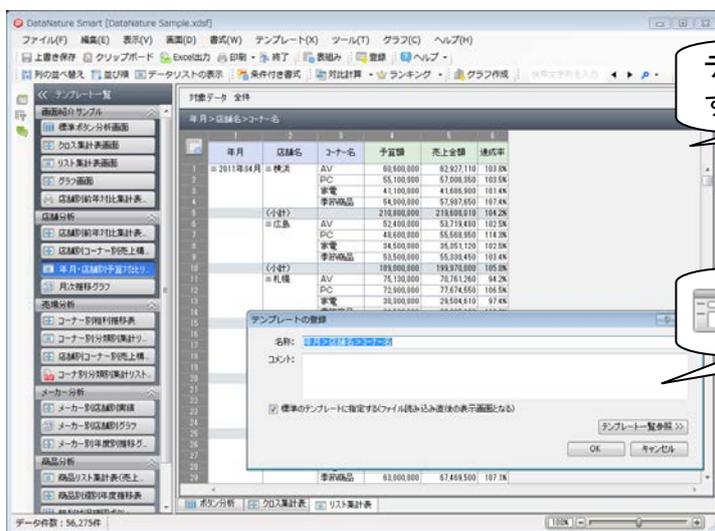
# 1. 概要

目的の集計表や分析画面に至るまでの操作手順を、テンプレートとして登録することができます。登録したテンプレートはテンプレート一覧からいつでも再実行できます。

また、テンプレートファイル(\*.dtmx)として保存することで、次回以降も同じ集計表や分析画面を、最新データを元に実行することができ、全社で共有することも可能です。



テンプレートファイルだけを保存し、そこにデータファイルを読み込んで利用することもできます。なお、テンプレートファイルには、データ型設定等のデータの構造定義や登録したボタン分析画面、集計画面情報等が格納されています。



年月別集計

店舗別集計

コーナー別集計

## 2. 活用方法

### 2-1 新規登録とファイルの保存

データ定義画面での定義完了後、目的の集計表や分析画面を表示し、そこに至るまでの操作手順を登録します。ここでは、登録からテンプレートファイルの保存手順までをご紹介します。

- 1  集計表や分析画面など、テンプレートに登録する画面を表示し、[登録]アイコンをクリックします。  
(メニューバー[テンプレート]-[登録])

▼[テンプレートの登録]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [名称:]テキストボックスに、テンプレートの名称を入力します。
- 3 [コメント:]テキストボックスに、テンプレートの説明などを任意に入力します。
- 4 このテンプレートを、次回、ファイル読み込み直後に表示する画面として指定する場合は「標準のテンプレートに指定する」をチェックオンします。



1つのテンプレートファイルに対して、標準のテンプレートは1つしか指定できません。後から設定した場合は実近のものが有効となります。なお、標準のテンプレートは後で変更することも可能です。



[テンプレート一覧参照 >>]ボタンをクリックすると「テンプレート一覧:」領域が展開され、登録済みのテンプレートを一覧表示します。名称やコメントを確認でき、登録内容の流用やテンプレートの上書き登録が行えます。

- 5 [OK]ボタンをクリックします。
- 6  ナビゲーションパネルの[テンプレート一覧]アイコンをクリックします。  
(メニューバー[テンプレート]-[一覧表示])

▼画面左側に「テンプレート一覧」が表示されます。手順⑤で登録したテンプレートが追加されています。



テンプレート一覧を表示した状態もテンプレートとして登録できます。

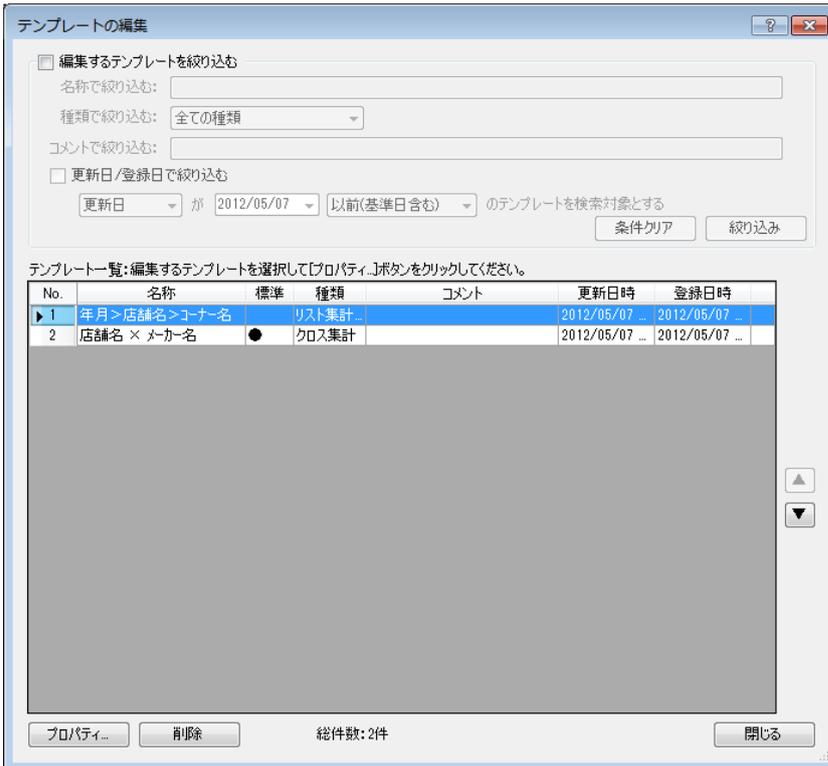
- 7  続いて、[保存]アイコンをクリックします。  
(メニューバー[ファイル]-[保存])
- 8 [名前を付けて保存]ダイアログボックスで、保存先とファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

## 2-2 編集・削除

登録済みのテンプレートの名称やコメントを編集したり、テンプレートを削除することができます。  
テンプレート一覧から編集・削除する方法と専用のダイアログボックスから編集・削除する方法があります。

- 1  [編集]アイコンをクリックします。  
(メニューバー[テンプレート]-[編集])  
※[編集]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00\_3 ◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

▼[テンプレートの編集]ダイアログボックスが表示されます。



テンプレートの編集

編集するテンプレートを絞り込む

名称で絞り込む:

種類で絞り込む:

コメントで絞り込む:

更新日/登録日で絞り込む

更新日  が  のテンプレートを検索対象とする

テンプレート一覧: 編集するテンプレートを選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。

No	名称	標準	種類	コメント	更新日時	登録日時
1	年月>店舗名>コーナー名		リスト集計		2012/05/07 ...	2012/05/07 ...
2	店舗名 × メーカー名	●	クロス集計		2012/05/07 ...	2012/05/07 ...

総件数: 2件

- 2 [テンプレート一覧:]から、編集・削除するテンプレートを選択します。



「編集するテンプレートを絞り込む」をチェックオンすると、対象のテンプレートを絞り込む条件を設定できます。条件は、名称・種類・コメント・更新日/登録日の4つから指定できます。条件設定後、[絞り込み]ボタンをクリックすると、[テンプレート一覧:]に表示されるテンプレートが絞り込まれます。

- 3 テンプレート名称やコメントを編集する場合は、[プロパティ]ボタンをクリックします。

▼[テンプレートのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



テンプレートのプロパティ

名称:

コメント:

標準のテンプレートに指定する(ファイル読み込み直後の表示画面となる)

- 4 名称やコメント、標準のテンプレートに指定するかどうかを編集します。

- 5 [OK]ボタンをクリックします。

▼[テンプレートの編集]ダイアログボックスに戻り、編集内容が反映されます。

No.	名称	標準	種類	コメント	更新日時	登録日時
1	店舗別コーナ別リスト集計...		リスト集計		2012/05/08 ...	2012/05/08 ...
2	店舗名 × メーカー名	●	クロス集計		2012/05/08 ...	2012/05/08 ...

⑥ テンプレートを削除する場合は、対象のテンプレートを選択し、[削除]ボタンをクリックします。

▼テンプレート削除の確認メッセージが表示されます。



標準のテンプレートに指定されているテンプレートを削除すると、以下のメッセージが表示されます。削除によって、標準のテンプレートが切り替わりますので、ご注意ください。

⑦ [はい]ボタンをクリックします。

▼[テンプレートの編集]ダイアログボックスに戻り、テンプレート一覧が更新されます。

No.	名称	標準	種類	コメント	更新日時	登録日時
1	店舗名 × メーカー名	●	クロス集計		2012/05/08 ...	2012/05/08 ...



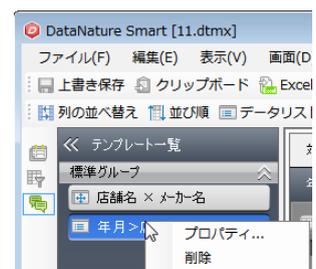
一覧の並び順は、ダイアログ右側の[▲][▼]ボタンで編集できます。並び替えるテンプレートを選択し、[▲][▼]ボタンで移動してください。

⑧ [閉じる]ボタンをクリックします。



ナビゲーションパネルから表示したテンプレート一覧の右クリックメニューからも、テンプレートの編集や削除が行えます。対象のテンプレート上で右クリックし、[プロパティ]または[削除]を選択します。

[プロパティ]を選択した場合は手順③を、[削除]を選択した場合は手順⑥を参照ください。



## 2-3 グループ

登録したテンプレートをグループ化することができます。標準グループの他、目的別にグループ分けして表示できます。グループは最大 64 個まで保存できます。

- 1  [グループ設定]アイコンをクリックします。  
(メニューバー[テンプレート]-[グループ設定])  
※[グループ設定]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00\_3 ◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

▼[グループ設定]ダイアログボックスが表示されます。



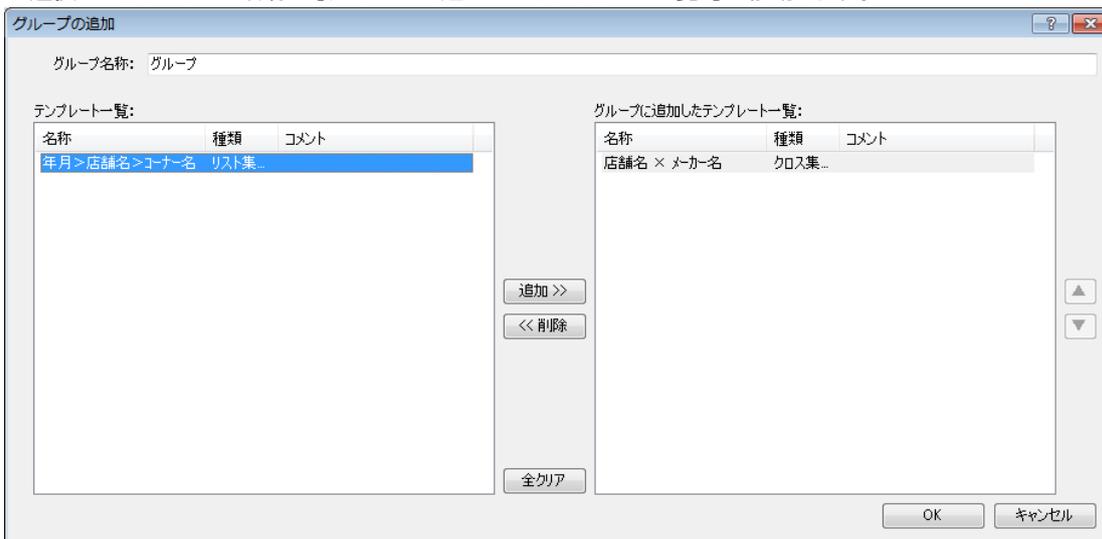
- 2 [追加]ボタンをクリックします。

▼[グループの追加]ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [グループ名称:]テキストボックスに、グループの名称を入力します。
- 4 続いて、[テンプレート一覧:]に表示されているテンプレート名称から、グループに追加したいテンプレートを選択し、[追加>>]ボタンで追加します。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のテンプレートを同時に選択できます。

▼選択したテンプレート名称が[グループに追加したテンプレート一覧:]に移動します。



[グループに追加したテンプレート一覧:]から対象を外す場合は、テンプレート名称を選択して[<<削除]ボタンで削除します。削除されたテンプレート名称は、[テンプレート一覧:]の最下部に表示されます。

5 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼[グループの追加]ダイアログボックスに戻り、グループが追加されます。



一覧の並び順は、ダイアログ右側の[▲][▼]ボタンで編集できます。並び替えるグループを選択し、[▲][▼]ボタンで移動してください。

6 手順②～⑤を繰り返し、必要なグループを設定します。設定後、[閉じる]ボタンをクリックします。

▼テンプレート一覧にグループの表示が追加されます。



新規に登録したテンプレートは標準グループに設定されますので、必要に応じてグループを変更してください。

テンプレートは複数のグループに設定することもできます。

### 3. テンプレートファイルのオプション

年度開始月やデータの並び順の既定値など設定し、テンプレートファイルに保存することができます。これにより、複数ユーザーで同じプロパティ情報を共有できます。

初めてテンプレートファイルを作成する場合は、メニューバー[ツール]-[DataNature Smart のオプション]で設定されている情報が初期値として適用されますが、[ツール]-[テンプレートファイルのプロパティ]から既定値を変更できます。

設定できる情報は、「日付期間の基準値」「項目名称の取得先」「ボタンの並び順の既定値」の3点です。

#### ◆ 日付期間の基準値

分析項目(日付型)列がある場合に作成される、自動日付グループの基準となる年度開始月や締め日、週の開始曜日を設定します。各項目のドロップダウンリストから、基準値を選択してください。

The screenshot shows the 'Template File Properties' dialog box with the 'Date Range Settings' tab selected. The dialog title is 'テンプレートファイルのプロパティ'. On the left, there is a list of tabs: '日付期間の基準値' (selected), '項目名称の取得先', and 'ボタンの並び順の既定値'. The main area contains the following text: 'データ型が日付型の項目から自動で生成される“年度”や“四半期”などの日付期間の基準を設定します'. Below this text are three dropdown menus: '年度開始月:' with '4月' selected, '締め日:' with '未締め' selected, and '週の開始曜日:' with '月曜日' selected. At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

#### ◆ 項目名称の取得先

項目名称の取得先を、データ定義画面で設定したテンプレートファイルの項目名にするか、データファイルの項目行にあるデータとするかを指定します。

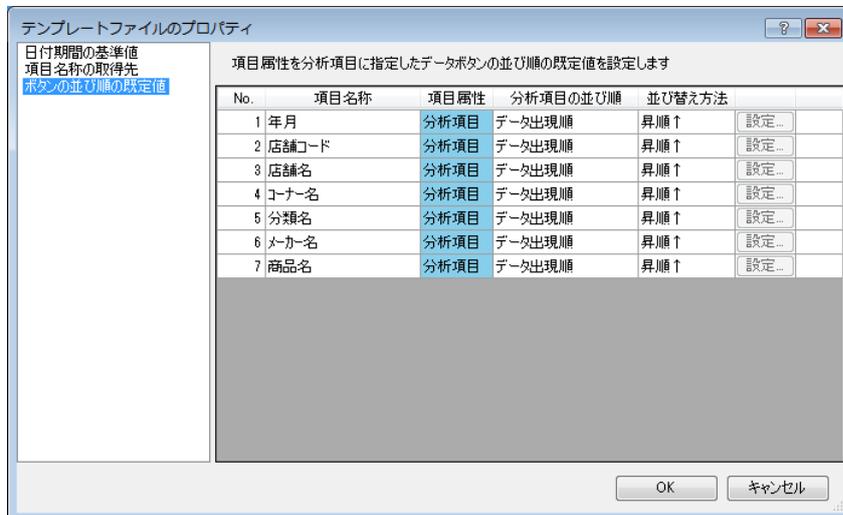
The screenshot shows the 'Template File Properties' dialog box with the 'Item Name Acquisition' tab selected. The dialog title is 'テンプレートファイルのプロパティ'. On the left, there is a list of tabs: '日付期間の基準値', '項目名称の取得先' (selected), and 'ボタンの並び順の既定値'. The main area contains the text: '列の項目名称の取得先を選択します'. Below this text are two radio buttons: the first is selected and labeled 'データ定義画面で設定されたテンプレートファイルの項目名を利用する', and the second is labeled '分析用データファイルの1行目を項目名として利用する'. At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' buttons.



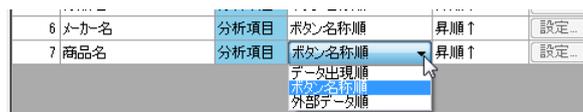
データファイルを利用する場合、データ定義画面の[データ定義適用表示欄:]にある[開始行の変更]から、項目行とデータ開始行を指定できます。

## ◆ ボタンの並び順の既定値

分析項目列のデータボタンの並び順について、既定値を設定できます。ボタン分析画面や集計表画面でのデータの並び順で、「既定値」を指定している場合、ここで設定した並び順が各画面で有効になります。



並び順を変更する場合は、対象となる項目名の「分析項目の並び順」([○○○○順▼])をクリックし、ドロップダウンリストから任意の並び順を選択します。



なお、「外部データ順」を選択した場合は、[設定]ボタンが有効になり、クリックすると[外部データ順設定プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。外部データとして参照する CSV ファイルを指定できます。

並び替え方法を変更する場合は、対象となる項目名の「並び替え方法」([昇順↑])をクリックし、ドロップダウンリストから任意の方法を選択します。

